

「地域とろう者をつなぐコミュニケーション講習会(仮題)」について

目的・ねらい

近年自然災害が頻発している中,ろう者を含めた「災害等発生時の避難に配慮を要する方」が,避難時に,コミュニケーション面での的確な支援を得られるようにするために,地域住民,防災関係者,福祉関係者が「ろう者やろう者とのコミュニケーション」について共通認識を持つ機会を設けることを目的に,講習会(意見交換会)を実施することで,「災害時におけるろう者への支援」「地域住民のろう者に対する理解」の促進を図る。

- 参加者～ろう者,手話通訳者,町内会長,民生児童委員,障害・介護サービス事業所
(行政)防災,高齢者,障害者
- ろう者に対する事業効果～ろう者自身の防災意識の向上,地域住民への理解促進
- 地域住民に対する事業効果～ろう者に対する理解促進地域の絆を深める
- 行政関係者における事業効果～防災への普及啓発,ろう者への支援促進,手話施策の推進

内容(案)

- ・「災害から身を守るための知識」～防災関係者からの講話
- ・「ろう者が災害時に困ること・願うこと」～被災経験のあるろう者または支援者からの講話
- ・演習「災害時にろう者を支援してみよう！」～災害発生時の安否確認,避難所への誘導,
避難所での支援等を実演
- ・グループワーク「災害時に考えられるろう者への支援」
- ・手話出前講座「いざという時のための手話を学ぼう！」
- ・啓発資材の作成・配布
「防災カード」「コミュニケーション支援カード」～ろう者用及び支援者・地域住民用
→関係者に配付するとともに,避難所等に常備してもらう